【学校教育目標】　いたわり　はげます　平和な学校　～「平和は城山から」～

長崎市立城山小学校
学校だより

平和の樹

令和８年１１月１０日　№.９

長崎市立城山小学校
校　長　中尾　善蔵

ワクワク大作戦！大成功！

１１月３日（祝）、秋晴れの心地よい気候のもと、本校運動場を会場に育友会主催イベント「ワクワク大作戦」が盛大に開催されました。

当日は、子供たちが大興奮となった「ハンター（鬼ごっこ）」や「スタンプラリー」など、工夫を凝らした企画が目白押しで、運動場には子供たちの弾ける笑顔と元気な歓声が終始響き渡っていました。

また、普段の学校生活や懇談会とは一味違った雰囲気の中で、子供たち・保護者の皆様・教職員が一緒になって汗を流し、温かい交流を深める素晴らしいひとときとなりました。イベントの最後には、参加した子供たちにおにぎりやお菓子が振る舞われ、大満足の一日となりました。

このような素晴らしいイベントを企画し、細やかな準備や当日のスムーズな運営に尽力してくださった有田会長をはじめとする育友会役員の皆様、そして「ハンター」の鬼役や「スタンプラリー」の係、安全見守りなど、多大なご協力をいただいた保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様の温かいサポートと情熱のおかげで、子供たちにとって忘れられない素敵な思い出がまた一つ増えました。





「できた！」と「協力」を育む自立活動

本日行われた特別支援学級での「自立活動」の研究授業の様子をご紹介いたします。

●そもそも「自立活動」とは？

「自立活動」とは、特別支援教育における重要な指導領域の一つです。子供たちが自身の障がいによる学習上または生活上の困り感を主体的・工夫して改善・克服し、将来の自立や社会参加に必要な力を育むことを目的としています。

単に運動や作業をするだけでなく、「自分の気持ちを表現する力」「運動の感覚や器用さ」「友達と協力・コミュニケーションをとる力」などを総合的に高めていきます。

●授業の様子：「えらんでチャレンジ・みんなでチャレンジ」

今回の授業では、１年生から６年生までの児童が「自分に合った難易度を選び、主体的・協調的に運動にチャレンジする」ことを目指して活動に取り組みました。

【「自分の気持ち」からはじめるステップ】

授業の最初と最後には、色々な表情のイラストを使って「今の自分の気持ち」を表現・共有する時間を設けました。自分の感情と向き合い、大切にする気持ちを育んでいます。

【主体性を育む「えらんでチャレンジ」】

微細運動ゾーン（ビーズ通しや洗濯バサミなど）、粗大運動ゾーン（平均台や縄跳びなど）、あるいはその両方を組み合わせたゾーン（けん玉やお手玉など）から、子供たち自身が「やってみたいこと」を選んで挑戦しました。前回の経験を活かしたり、友達の姿を参考にしたりしながら、一人一人が目標を持って道具の準備から意欲的に取り組みました。

【協調性を育む「いっしょにチャレンジ（宝記憶ゲーム）」】

チームの仲間と力を合わせるゲームでは、ステージ上の宝物を順番に見に行って記憶し、チームの仲間に伝えて紙に書き出す活動を行いました。勝ち負けだけにこだわるのではなく、「声を掛け合い、協力して楽しむ」姿がたくさん見られ、子供たちの成長を感じる時間となりました。

【時代に合わせた工夫（ICT と AI の活用）】

授業では 40 分という限られた時間を有効に活用するため、学習の流れを定着させる工夫や、AI を活用して制作した子供たちが親しみやすい「合言葉」や「キャラクター」「音楽」を取り入れ、楽しみながら集中して取り組める環境づくりを行いました。

子供たちが「自分で選び、決定し、挑戦できた達成感」や「友達と協力できた喜び」は、これからの学校生活、そして将来の自立に向けた大きな自信につながると確信しています。

今後も、子供たち一人一人の可能性を拓く教育実践に、全職員で取り組んでまいります。引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。





令和８年度　重点指導目標　「あいさつ　たくさん　ハッピース！」